

9月定例議会、質問しました

4月の市議会議員選挙にて初当選させて頂き、新鮮な気持ちで議員活動の日々を過ごしております。

現在木更津市は人口が増加傾向にあります。市街化区域の住宅地と市街化調整区域の農村部では人口の格差が生じております。人口の格差がそのまま住みやすさの格差にならない様にと考えています。その他にも様々な解決すべき諸問題や、色々な面で難しい事が多いと思いますが、市民の誰もが住みやすい木更津にしたいと頑張りたいと思います。

宜しくお願い致します。

【9月議会一般質問内容】

9月議会において、一般質問をさせていただきました。公民館の在り方について・小中学校の適正配置について・有害鳥獣被害対策についての3点です。質問の目的と要点を記させていただきます。

1 公民館の在り方について

公民館は地域コミュニティの中心として生涯学習の拠点として整備して欲しいという考えで質問致しました。

自主的な活動を積極的に支援し、活力のあるコミュニティの形成を推進する。そしてその為に社会教育主事を配置していくことが重要と回答を得ました。

2 小中学校の適正配置について

今、市内の人口に片寄りが発生しており、人口の減少が見られる農村地区の小中学校の統廃合が検討されておりますので、市の考えを問いました。

地域の核としての役割を担っている学校は、地域の理解が必要不可欠であるので適切に対応すると、慎重な考えが確認できました。また、小規模特認校制度を進め、特色のある教育活動をするとも回答を得ました。

3 有害鳥獣被害対策について

農村地域の活性化の妨げや、耕作放棄地の拡大につながる有害鳥獣被害が増大している傾向に対する考えを問いました。現在の駆除活動への支援や防護柵設置補助等を進め、県との連携の強化を図るとの回答を得ました。

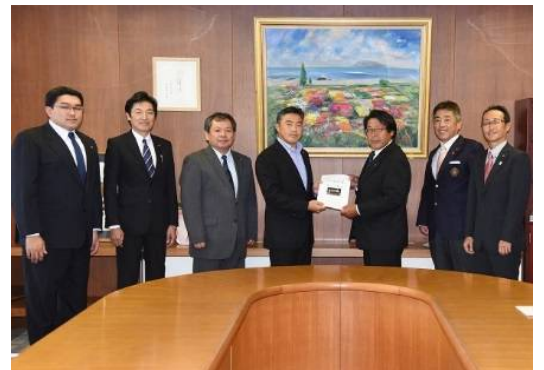
※ 質問及び答弁の内容は **石井のりあき** ホームページ(活動報告)よりご覧いただけます。



【所属会派】 羅針盤

木更津市議会の中で6名の最大会派となりました。
議会改革・行政改革・木更津活性化を旗印にまい進している会派です。
9月に渡辺市長に対して、羅針盤の要望書を提出致しました。

斉藤高根 3期目 幹事長 平野卓義 3期目 副幹事長
近藤忍 3期目 草刈慎祐 2期目
永原利浩 2期目 石井徳亮 1期目



要望書要旨

要望1 公共施設の計画について

公民館・図書館・市役所等の公共施設について、将来に向けた中長期的な総合計画を市民と共に立案する会議の場を創設するように要望しました。

要望2 未使用財産の利用計画について

市所有の未使用財産である土地等について精査し、今後の利用計画を市民に開示し、また使途が明示できないものについては処分を含めた再検討するよう要望しました。

要望3 祝祭日と土曜日・日曜日の市民の利便性について

2つの市庁舎に分かれた現在、特に市民利用の多い朝日庁舎の利便性を更に向上させるため祝祭日及び土・日の買い物ついでに市役所を利用できるよう要望しました。

要望4 防災体制の強化について

河川計画の立案と対策、津波・高潮対策、災害時の情報伝達体制の向上、災害に強いまちづくりのため住宅建設・建替え時に政策的な誘導をするよう要望しました。

要望5 交通インフラの有効活用について

巖根駅への全快速列車停車、高速バスの木更津～金田間の停留所の設置、木更津飛行場の官民共同利用の促進、木更津港の施設を着実に整備するよう要望しました。

要望6 君津中央病院において中学生以下の児童の夜間診療で軽症の場合、時間外選定療養費の負担が導入されましたが、内容の見直しを病院へ求めるよう要望をしました。

要望7 観光農業、滞在型農園への積極的な取り組みについて

バランスの取れたまちづくりのため遊休農地などを活用し、市街化調整区域においても観光農業・滞在型農園等を行えるよう要望しました。

要望8 木更津市都市計画道路中野畑沢線早期整備について

中野畑沢線の南部（桜井・貝渕工区）の早期開通と、北部（中野工区）の着工を求めるとともに、中央地域の開通見通しを示すよう要望しました。

【所属委員会】

教育民生常任委員会 地方創生特別委員会 議会広報委員会

【視察報告】

○ 会派羅針盤視察 平成27年7月28日～7月30日

石川県輪島市 「回遊性と賑わいのある街づくりについて」

輪島市は廃止された鉄道の旧駅舎、県道・朝市通り、海岸埋立によるマリントウン等を整備することで「里山里海」を中心とした観光客の誘致や回遊を目指した事業に取り組んでいる。

石川県七尾市 「火葬場「ななか斎場」事業について」

七尾市と鹿島郡の広域圏事務組合は「ななか斎場」という火葬場を広域的な視点で建設・運営している。

富山県氷見市 「高校の体育館を改修した新市役所について」

氷見市の旧市役所は耐震性能が低く駐車場も狭かったため、平成24年3月31日に閉校した高校に市役所を移転することとして工事が進められ、平成26年5月6日に新しい庁舎で業務を開始した。

石川県金沢市 「市民協働推進事業について」

金沢市における各種団体との市民協働事業は、複数年度に跨る事業が出来ないが市の担当課と協働で行うことで必要な場合は市の通常事業に昇華する仕組みである。

○ 教育民生常任委員会視察 平成27年10月7日～10月9日

奈良県大和郡山市 「不登校対策総合プログラム「ASU」について」

小中学校に在籍する不登校児の社会的自立を促す教育を推進するために学科指導教室「ASU」を設置した。現在の学校に籍を置いたまま通室し特色ある教科の進め方で自己を見つめ直し自ら計画を立て自立を目指している。

奈良県橿原市 「こども総合支援センターについて」

就学前の発達障害に特化した施設で子どもの様子・状態に応じた療育を行い個別支援を行う。親に対しても子供の状況を自覚してもらい親としての役割等を理解してもらう。就学後の相談は中学校卒業時まで受ける。

大阪府羽曳野市 「はびきの中学生study-Oについて」

中学生の自学自習力を伸ばし、学力向上を図るため、中学生の学校外における自学自習の場として市役所内の会議室を土日に提供し、市職員や教員免許を所持または塾等の講師経験のある方等が学習をサポートする。



所属会派、羅針盤については、年明けすぐに新聞折り込みにて会派報発行予定ですので、ご覧下さい。

この後援会報は平成27年4月時点での資料に基づき発送させて頂いております。

お名前などの間違い等、失礼な点が御座いましたらご一報下さいませ。申し訳御座いませんが宜しくお願い致します。